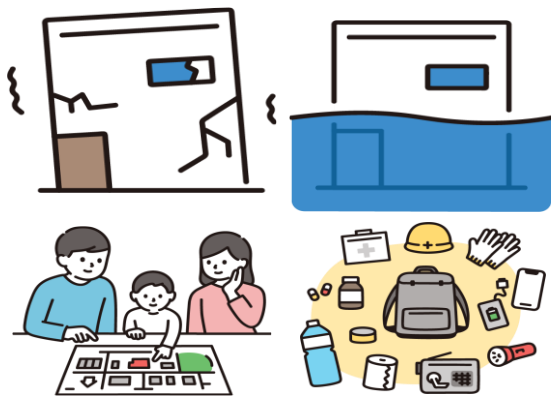


そらいんNEWS

「顔の見える関係から」から「語り合える関係」に
～発言力がある組織づくりを目指して～

1 災害時の避難指示発出！避難しますか？

地震、台風、線状降水帯による豪雨など自然災害がどの地域でも発生する可能性がある状況です。
減災への取り組みをしていくかが、命を守ることにつながっていきます。



警戒レベル 4 避難指示 までに必ず避難
市町村からの避難情報発令前でも自らの判断で避難しましょう

| 警戒レベル | 状況 | 住民がとるべき行動 | 避難情報等 |
|------------------|----------------|--------------------|-------------------------|
| 5 | 災害発生 又は噂 | 命の危険 直ちに安全確保！ | 緊急安全確保※1 |
| ＜警戒レベル4までに必ず避難！＞ | | | |
| 4 | 災害の おそれ強い | 危険な場所から 全員避難 | 避難指示 ひなんしじ |
| 3 | 災害の おそれある | 危険な場所から 高齢者等は避難 | 高齢者等避難※2 こうれいしゃとうひなん |
| 2 | 災害の おそれ | 自らの避難行動を 確認する | 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁) |
| 1 | 今後災害発生 のおそれ | 災害への心構えを 高める | 早期注意情報 (気象庁) |

●災害時の避難の判断について

日本赤十字社が2024年に調査をした結果、避難指示等発出も「避難したことない」8割、「自宅の方が安全」や「大した状況ではない」と考える人が2割との結果が発表されています。

私たちが日々支援をしている方は、高齢の方や認知症の方など、日常生活に支援が必要な方です。命を守るためにもそれぞれの地域や、状況に応じた避難を考えていく必要があります。

また、災害時には「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示されています。「避難情報に関するガイドライン」等をご参照いただき、計画の見直しや、災害時の対応について今一度、検討してみたいかがでしょうか。

●避難が困難な方の個別避難計画について

個別避難計画とは、災害時の避難に支援が必要な避難行動要支援者一人ひとりの「どこに避難するか」「誰が支援するか」等を記載した計画書です。地域の災害特性や本人の心身の状況をもとに各地域でモデル事業などの取り組みが進められています。

優先度が高い方から計画の作成が進められており、本人のことをよく知るケアマネジャー等の福祉専門職や地域の関係者の協力を得て避難の実効性を高めていく取り組みが進められています。

＜参考資料＞ 下記のURLを、クリックして頂くとリンク先への移動が可能です。

内閣府防災情報サイト<https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/yoshiensha.html>

気象庁: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>

警戒レベル: https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

日本赤十字社: https://www.jrc.or.jp/press/2024/0829_042546.html

2 勤務中に災害発生！！「帰宅困難」事業所の備えは大丈夫？

勤務中に災害が発生した場合帰宅困難で、数日自宅に帰れないことが予測されます。その時に私たちの身を守るものが事業所にありますか？災害時の準備についてはお金がかかります。計画的に準備をして、事業所の防災・減災へ取り組んでいきましょう。

事業所内を一度点検してみてもいいでしょうか？

- ☐ 棚など倒れてくる危険性のあるものは固定できていますか。
- ☐ 飲み水以外に、生活に必要な水（食器や手を洗ったりする水）を確保できていますか。
- ☐ 事業所内に、ライト、ヘルメット、ラジオなどは備えてありますか。
- ☐ 安全に寝られる場所（寝具なども含む）はありますか。非常時のトイレも検討できていますか。
- ☐ 私たちが生活できる最低限の水・食料が最低3日分程度は準備できていますか。
- ☐ ハザードマップを活用し職場周りの避難場所などが把握できていますか。
- ☐ 停電対策でポータル電池やモバイルバッテリーなどはありますか。定期的に充電していますか。

防災備品については、それぞれの状況に応じた内容や数量を検討し準備しましょう。

スマートフォンに入れておくと便利な災害のアプリを一部ご紹介いたします。

アプリを活用して、地域を歩いてみるのも訓練の一つかもしれませんね。



防災速報 - 地震、津波、豪雨など、災害
Yahoo! JAPAN (LY Corporation)
4.1 ★



報酬改定により、事業継続計画の策定と同様に、事業継続計画の周知、研修、訓練及び定期的な計画の見直しの実施が義務付けられています。

ハザードマップポータルサイト：<https://disaportal.gsi.go.jp/>

持ち出し物のチェックリスト：<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000111250.pdf>

3 研修会の報告

【会場 研修】 参加者：63名

第1回研修会 令和7年5月15日（水）14：30～16：30 くわなメディアライヴ 多目的ホール
事例検討会：「在宅生活の限界点を高める支援」

講師：桑名医師会居宅介護支援事業者えがお 瀬古 明恵 氏

【オンライン（Zoom）研修】 参加者：89名

第2回研修会 令和7年8月18日（月）13：30～15：30

テーマ：『地震災害時における介護支援専門員の役割とは』～実際のBCPはどうだったか～

講師：石川県介護支援専門員協会 会長 北山 達朗 氏



4 研修のご案内

【第3回オンライン研修会】 令和7年10月27日（月）13:30～15:30

テーマ：『介護認定の基本を理解する』 講師：桑名市介護高齢課 認定審査係 係長 渡邊 美絵 氏

【第4回オンライン研修会】 令和7年11月13日（木）13:30～15:30

テーマ：『ヤングケアラー 難病について』 講師：合同会社カサージュ 代表 寺岡 純子 氏

日程等が決まり次第会員の皆様にはご連絡をさせていただきます。幅広い分野の研修を考えていきますので、日程等を確認いただき研修会の申し込み、ご参加をよろしくお願いいたします。

そういんNEWSは三重県介護支援専門員協会ホームページにも掲載しています。<http://mie-cma.com/>